

愛媛県作業療法士会は昭和 57 年 6 月に発会し、平成 28 年 7 月現在の会員数は 1010 名です。作業療法は病気やけが、生まれながらに障がいがある方に対して、年齢に関係なく社会とのつながりを「作業」を通じて作ります。身体障害から精神障害、そして発達期から高齢期まで、人生のあらゆるステージに関わります。作業療法では運動や感覚等の基本的動作能力から食事やトイレ、家事等の応用動作能力の獲得、そして就労・就学や地域活動に参加する等、社会の中に適応し「その人らしい」生活の獲得を目標にします。急性期、回復期での具体的な生活に必要な能力の獲得と共に、住宅を含めた環境調整を図ることで、住み慣れた場所での生活や地域コミュニティへの参加を図ります。

活動の場は、病院・クリニック・障害者施設・老人保健施設・デイケアといった医療や福祉、介護の現場のみならず、保健所・地域包括支援センター、就労支援事業施設や特別支援学校への関わりなど、保健・職業・教育領域を含む社会活動の現場でも社会との接点を作るため作業療法士が活動しています。

発達障害の作業療法では、発達時期に障害を受けた子供たちに対し、対象者との面接や活動の中でアセスメントを行い、困りごとの解決に必要なご本人への介入、周囲の方など人的環境の工夫、道具の利用を図る物的環境の工夫等の支援プログラムの立案と実施をします。特別支援教育においては、学習や生活、遊びなど学校で行う様々な活動を利用して個々の子供の課題への支援を行っています。また、将来の自立や就労を見通した支援プログラムの提案を行っています。

「インクルーシブ教育システム構築事業」の取り組みや交流支援アドバイザーの派遣をとおして教育に関わる行政と専門職団体との連携が本県においても構築されつつあります。今後も「合理的配慮」や「基礎的環境整備」への専門職の関わりとネットワーク作りが必要です。(公社)愛媛県作業療法士会としては、教育、福祉、就労に関わる作業療法士の増数と、技能向上を図っていくことが課題です。今後とも当士会へのご指導や事業へのご協力をお願い致します。

会長：澤田昌宏

HP：<http://www.otehime.org/>